

研修事例

研究開発者
育成

支援先

セキグチ精工株式会社

プラスチックの流動解析及び
構造解析研修

【内 容】

近年のコンピュータの飛躍的な向上により，プラスチックの金型設計に 3D-CAD や解析シミュレーションなどのデジタルエンジニアリング技術が普及しつつあります。しかし，それらのソフトウェアを効果的に活用するには，単純な画面操作ではなく，適切な条件の設定や得られた結果を正しく理解することが重要です。そのニーズに対応するため，プラスチックの流動解析に関する技術研修を実施し，設計開発従事者の育成を図りました。

■平成 28 年度の実績

支援先：セキグチ精工株式会社

受講者：2 名

期 間：平成 28 年 12 月～平成 29 年 3 月

回 数：全 9 回

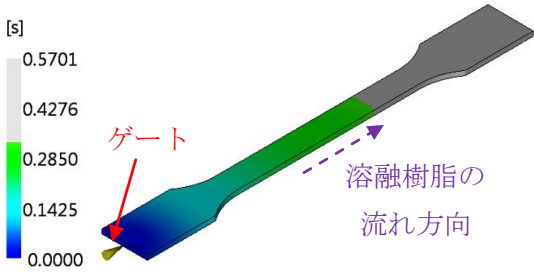


図 1 流動解析例（充填時間）

基礎となった事業

平成 28 年度 試験研究指導費（標準）

現在の担当部門

素材開発部門

部 門 長
主 任

飯村 修志
谷萩 雄一郎

TEL:0296-33-4154